



国立感染症研究所 エイズ研究センター
きくち ただし
菊地 正先生

この問題に詳しい国立感染症研究所の菊地正先生にお話をうかがいました。

HIV感染、梅毒、エムポックスなど、私たちに身近な性感染症は今、日本で、世界で、どのような広がりを見せているのでしょうか？

この問題に詳しい国立感染症研究所の菊地正先生にお話をうかがいました。

この問題に詳しい国立感染症研究所の菊地正先生にお話をうかがいました。

エイズ対策のキーパーソンたち 疫学の視点から見た HIV感染の今―遺伝子レベルで ウイルスと向き合うと…



発行：MASH大阪
〒530-0027 大阪市北区堂山町11-2 堂山山よしビル4F
☎ & ☎ 06-6361-9300
https://www.dista.osaka/
この資料は、大阪市のMSM向け
HIV予防啓発広報紙作成事業で制作されました。

この問題に詳しい国立感染症研究所の菊地正先生にお話をうかがいました。

この問題に詳しい国立感染症研究所の菊地正先生にお話をうかがいました。

この問題に詳しい国立感染症研究所の菊地正先生にお話をうかがいました。

こちらのHIV検査場はすべて無料・匿名です 大阪府版(2024年4月20日現在)

エイズの知識を深め、HIV検査に行ってみませんか？ 以下の検査施設では、無料・匿名でHIV検査を受ける事ができます。
※検査実施状況が変更になる事がありますので、各保健所へご確認ください。

【大阪市】	北区役所 保健福祉センター 大阪市北区扇町2-1-27 ☎06-6313-9882	月・金曜日/9時30分～11時 水曜日/14時～15時30分
	中央区役所 保健福祉センター 大阪市中央区久太郎町1-2-27 ☎06-6267-9882	火・水・木/9時30分～11時 第1金曜日★(HIVのみ)/14時～15時
	淀川区役所 保健福祉センター 大阪市淀川区十三東2-3-3 ☎06-6308-9882	月曜日/14時～15時30分 火曜日/9時30分～11時
	chotCAST 大阪検査相談・啓発・支援センター 大阪市中央区東心斎橋1-7-30 21心斎橋ビル4階 火・木・土・日曜日 ☎06-4708-5035 ※いずれも検査実施時間帯のみ [木曜日、土・日曜日はWEB予約] https://chotcast.com	火曜日/18時～19時50分(先着50名) HIV・梅毒・B型肝炎 木曜日★/18時～19時30分 (先着50名)(予約制) HIV・梅毒・B型肝炎 土・日曜日★/14時～15時30分 (先着50名)(予約制) HIV・梅毒・B型肝炎
【堺市】	堺保健センター(堺市役所敷地内) 堺市堺区南瓦町3-1 ☎072-238-0123	9時15分～10時45分 (第4水曜日は9時30分～11時)
	中保健センター 堺市中区深井沢町2470-7(中区役所内) ☎072-270-8100	第3月曜日/9時30分～11時
	東保健センター 堺市東区日置荘原寺町195-1(東区役所内) ☎072-287-8120	第4火曜日/9時30分～11時
	西保健センター 堺市西区鳳東町6T600(西区役所内) ☎072-271-2012	第1火曜日/9時30分～11時
	南保健センター 堺市南区桃山台1-1-1(南区役所内) ☎072-293-1222	第3水曜日/9時30分～11時
	北保健センター 堺市北区新金岡町5-1-4(北区役所内) ☎072-258-6600	第2火曜日/9時30分～11時
	美原保健センター 堺市美原区黒山782-11 ☎072-362-8681	第4木曜日/9時30分～11時
	サンスクエア堺 堺市堺区田出井町2-1 サンスクエア堺B棟地下1階 第5会議室 ☎072-222-9933 (堺市保健所 感染症対策課(開庁時間のみ))	奇数月・第3水曜日 18時30分～20時(先着20名) HIV・梅毒
	堺市保健医療センター1階★ 堺市堺区甲斐町東3-2-6(保健医療センター内) ☎072-222-9933	偶数月・第3木曜日/10時～11時(先着20名)
【東大阪市】	東保健センター 東大阪市旭町1-1 ☎072-982-2603	第3金曜日/9時30分～11時
	中保健センター 東大阪市岩田町4-3-22-300 ☎072-965-6411	第2・4水曜日/9時30分～11時
	西保健センター 東大阪市高井元町2-8-27 ☎06-6788-0085	第2・4月曜日/9時30分～11時
【高槻市】	高槻市保健所 高槻市城東町5-7 ☎072-661-9332	毎週金曜日/9時30分～10時30分
【豊中市】	豊中市保健所★ 豊中市中塚塚4-11-1 ☎06-6152-7316	第1火曜日・第3木曜日/13時～14時 HIV・梅毒
【枚方市】	枚方市保健所 枚方市大垣内町2-2-2 ☎072-807-7625	毎週火曜日/10時～11時30分
【八尾市】	八尾市保健所 八尾市清水町1-2-5 ☎072-994-6644(感染症担当)	第2・4木曜日/9時30分～11時 (予約制/定員12名)
【寝屋川市】	寝屋川市保健所 寝屋川市八坂町28-3 ☎072-829-7773	第1・3水曜日/9時30分～10時30分
【吹田市】	吹田市保健所 吹田市出口町19-3 ☎06-6339-2227	第1・3金曜日/9時30分～11時30分
【大阪府】	池田保健所 池田市満寿美町3-19 ☎072-751-2990	第1・2火曜日/13時30分～14時30分
	茨木保健所★ 茨木市大住町6-11 ☎072-624-4668	第1・2・4木曜日/9時30分～10時30分 ※ただし、12/26及び1/2は実施なし
	守口保健所 守口市京阪本通2-5-5(守口市庁舎8階) ☎06-6993-3133	第2・4月曜日/10時～11時
	四條畷保健所★ 四條畷市江瀬美町1-16 ☎072-878-1090	第1・3月曜日/9時30分～10時15分 HIV・梅毒
	藤井寺保健所★ 藤井寺市藤井寺1-8-36 ☎072-955-4181	第2・3水曜日/9時30分～10時30分 HIV・梅毒
	富田林保健所 富田林市寿町3-1-35 ☎0721-23-2683	第1・3水曜日/13時30分～14時30分
	和泉保健所 和泉市府中町6-12-3 ☎0725-41-1342	第2・4水曜日/9時30分～11時 ※ただし、12/25は実施なし
	岸和田保健所 岸和田市野田町3-13-1 ☎072-422-6077	第1・3火曜日/13時30分～14時30分
	泉佐野保健所★ 泉佐野市上瓦屋583-1 ☎072-462-7703	第1・3月曜日/13時～14時 HIV・梅毒

6月1日～7日はHIV検査普及週間です!! HIVには予防・早期発見・早期治療が有効です。

エイズ、性感染症について、気軽にご相談ください!

HIV陽性とわかった時、またエイズや性感染症について相談したり、情報が欲しい時、大阪には相談できるサービスや支援があります。気軽にお問い合わせください。

HIV検査や性感染症などに不安がある方
community center
dista
性感染症について知りたい、相談や心配事がある、そんな方にご相談ください。お話を聞き、一緒に考えるお手伝いをします。電話相談と対面相談を行っています。相談員にはゲイの人も安心して安心です。

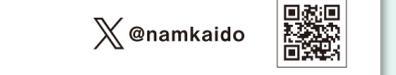
MAP
住所:大阪市北区堂山町11-2 堂山山よしビル4F
☎ 06-6361-9300
木曜～日曜/17:00～22:00(月・火・水曜休館)
https://www.dista.osaka/

相談がしたいHIV陽性の方
SO・SO・SO
総合相談窓口
www.charmjapan.com/charmsoudan/

HIV陽性のゲイ・バイセクシャル男性
カフェイベント『あんおぼ』
詳細はこちら http://www.60.atwiki.jp/anopportunity/

エイズに関する様々な相談をしたい方
エイズ予防財団
☎ 0120-177-812 (無料)
※携帯電話からは、03-5259-1815まで(有料)
月曜～金曜/10:00～13:00、14:00～17:00(祝日は除く)

[南界堂通信第47号 編集後記]
南界堂通信のX(旧Twitter)をフォローして最新情報をチェック!



●2面時事ネタの「最高裁が、同性パートナーも遺族給付金支給の「配偶者」に該当しうる」判決は、私もかかわって来た事件なので、とても嬉しかったです。1審、2審では訴えが退けられましたが、あきらめず、最高裁で大きく扉が開かれた、という思いです。(大畑)

●お盆の鹿児島と大分への墓参。航空券、レンタカー、ホテルを予約しました。JRとバスでも行けるものの、旅先の移動に融通がきくことや、早く確保できることにメリットを感じます。(泰平)

●4月中旬、富山へ行きました。東北の友人と、七尾旅人の被災地復興支援ライブへ。旅人さん翌日は、鉄道もバスも不通の輪島へ行き、神社の境内でライブとのこと。頭が下がります。(哲)

時事ネタ WATCH

中高年MSMと暮らし



同性パートナーの権利保障を大きく進める2つの判決

この3月、同性パートナーの権利保障を大きく進める裁判の判決が二つ出されました。順に紹介していきます。

●札幌高裁が「同性婚を認めていない民法は憲法二十四条一項に違反！」

本誌でも度々紹介していた「結婚の自由をすべてのひとに」訴訟。二〇一九年に裁判が起された、全国五カ所（札幌、東京、名古屋、大阪、福岡）の地方裁判所で裁判が続いていましたが、順次、判決が言い渡され（本誌三十五号）、審理は各高等裁判所に移っていました。初めての高裁判決が、三月十四日、札幌高裁で言い渡されました。

「配偶者（事実上婚姻関係と同様の事情にあつた者）」に該当しうる」と

この訴訟で、憲法二十四条違反を認めた判決は初めてです。今後の高裁、そして最高裁判決が注目されます。

●最高裁が「同性パートナーも遺族給付金支給の「配偶者」に該当しうる！」

三月二十六日、最高裁判所は、同性パートナーを殺害された男性が、犯罪被害者等給付制度に基づき遺族給付金の支給を求めた裁判で、控訴審判決を破棄し、犯罪被害者としての者であることのみをもって犯給法五条一項一号の「配偶者（事実上婚姻関係と同様の事情にあつた者）」に該当しないとするのは同条項の趣旨に照らして相当でなく、法律上同性のパートナーも「配偶者（事実上婚姻関係と同様の事情にあつた者）」に該当しうる」と判示する判決を言い渡しました。



お知らせとお詫び

前号掲載の「神社で同性パートナーと神前結婚式をしようとしたら」(前編)の後編は、今号に掲載予定でしたが、前記2つの判決が出ましたので、次号とさせていただきます。申し訳ありません。

に対し、愛知県公安委員会が、被害者と上告人が法律上同性であることのみを理由に不支給裁定をしたため、その取消しを求めていました。

「事実上婚姻関係と同様の事情にあつた者」には同性パートナーは含まれないとして、同性カップルは犯給法上の事実婚配偶者にあたらないと判断していました。

「配偶者（事実上婚姻関係と同様の事情にあつた者）」に該当しうる」と判示する判決を言い渡しました。

「配偶者（事実上婚姻関係と同様の事情にあつた者）」に該当しうる」と判示する判決を言い渡しました。

新年度が始まり、新しい環境には少しずつ慣れてきましたでしょうか。忙しい生活の中では食生活は乱れやすく、外食や中食が増えると脂質や食塩の過剰摂取や栄養の偏りが生じやすくなります。栄養バランスの乱れに運動不足やストレス過多が重なると、生活習慣病などを引きやすくなります。今日は、生活習慣病予防についてお話ししたいと思います。

食生活の乱れとは？

3. たんぱく質・カルシウムの摂取

生活習慣病は、早めの予防が大切です。身体活動量は年齢とともに低下する傾向にあるので、食事の量と質に気をつけましょう。エネルギーや脂質、食塩の摂りすぎに注意しながら、たんぱく質やカルシウムはきちんと摂りましょう。毎食、野菜を食べているかなど、日々の食事内容や食習慣を見直しましょう。また、運動習慣も身に付けることが大切です。

2. 食塩・アルコールの摂りすぎ

高血圧の予防には、食塩の摂取を抑えるとともに、野菜類やくだものに多いカリウムの摂取も大切です。中高年の時期は、これまでの栄養状態がアンバランスな場合、その影響が生活習慣病の発症となって現れます。脂質や食塩、アルコールの摂りすぎにも注意が必要です。

1. 魚・野菜・果物不足

日本の食事は魚類が中心でしたが、肉類の摂取が増加しています。肥満や脂質異常症の割合が増える中高年の時期に、肉に偏った食事には注意が必要です。また、野菜や果物の摂取不足が、ビタミン・Cや食物繊維の不足の一因になっています。食物繊維は排便を促進するなど生活習慣病予防効果が認められていますので積極的に野菜を食べましょう。

簡単な生活習慣予防の料理を紹介したいと思います。

【ナスとトマトの香味和え (2人前)】

- ①ナス(2本)はヘタを切り落とし、乱切りにします。耐熱ボウルに入れてラップをかけ、600Wの電子レンジで3分加熱します。
②トマト(2個)はヘタを取り除き、角切りにします。
③ミョウガ(1本)は粗みじん切り、大葉(5枚)は軸を切り落とし千切りにします。
④酢(大さじ1)、しょうゆ(大さじ2)、ごま油(大さじ1)を混ぜ合わせます。
⑤①のボウルに②、③、④を入れて白ごま(適量)をふって和えます。味がなじんだら器に盛り付けて出来上がり。

※ナスは、近年ポリフェノール成分に注目が集まり、生活習慣病予防の抗酸化作用に期待が寄せられています。



6月は食育月間です。あらゆる世代の人々が、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できるようになることが大切です。野菜をほとんど食べない、おやつを食べ過ぎるなど、食生活が乱れている状態が続くと栄養バランスが崩れ、体調を崩すきっかけにつながります。食べ過ぎたと思った次の日は、あっさりした食事にしましょう。ライフスタイルに合わせてできそうなことから少しずつ取り組んでみましょう!

大切なことは…

追っかけエイズ

大阪市のエイズ対策

先駆的な取り組みをめざして



エイズ対策推進センター

先日、ある政令指定都市のエイズ対策担当者から「大阪市はなぜ、新規HIV感染者数が他都市と比べて順調に減少しているのか理由を教えてください」と訊かれました。その政令指定都市での審議会で話題となり、対策の参考としたとのことでした。新規HIV感染者数が減少に転じている理由について改めて問われ、次の三点が主な理由ではないかと考えました。

八・三%減少しましたが、全国の減少率は五十一・五%であり、比較的、検査受検者数が保たれていました。二〇二二年度以降は、梅毒流行の報道の影響を受け、検査受検者数が増加した影響でコロナ前の受検者数まで戻ってきています。MASH大阪と協働で実施している、「distaでヒタツとちまっくん」は、二〇一四年度にイベント検査を実施したことから始まり、二〇一八年度からは、MSMコミュニティの中で「受けやすい検査環境」を目指して常設検査となりました。最近では、PREPやU=U、梅毒に関するご相談を多くお受けしています。ほかにも、北区保健福祉センターで第五金曜日の夜間に夜間検査を実施するなど、受検者の利便性を考慮した検査相談体制の構築を目指しています。

基本指針に基づいた多岐にわたる施策の展開です。二〇〇六年の国の指針の改正時に、「国と十分に連携して積極的に施策を推進されたい」として、「人口十万人に対する新規HIV感染者・エイズ患者報告数が全国平均以上の自治体を重点的に連絡調整すべき都道府県等」を定め、大阪府はその一つに選定されました。これを受け、二〇〇七年に「大阪市エイズ対策基本指針」を策定し、以降、大阪府は五年ごとに評価の上、新しい指針を策定し、二〇一二年四月に第二次、二〇一七年十月に第三次、そして二〇二二年十月に第四次基本指針を策定しました。大阪市の指針は国や他の自治体にはない数値目標を設定することで目標を明確化し、目標の達成度を確認しながら、現状と課題を整理して計画的に取り組みを継続してきました。また、二点目で述べたNGO等の団体が指針の策定段階から参画いただいていることで、ブラッシュアップされたエイズ対策が推進できている大きな理由だと考えています。

一点目は、検査体制が充実していることです。大阪府では、毎日どこかで検査が受けられるよう、夜間・休日も含めて実施しています。大阪府においては、日本で初めてエイズ患者が報告された一九八六年より、大阪市内各保健所においてエイズ相談を、翌一九八七年にHIV抗体検査を開始し、大都市の特性に合わせた検査体制の整備を行っています。コロナ禍でも一回目の緊急事態宣言時に約一ヶ月程度、検査を中止した以外は、コロナ前の検査体制を継続してきました。二〇二〇年度の大阪市の検査受検者数は、前年から三十

二点目は、大阪府は、NGO等の団体に恵まれており、日々の連携の中で、普及啓発や検査相談体制の構築等の対策に貴重なご意見をいただき施策に反映できていることです。

これらの対策が新規HIV感染者の減少につながっていると信じています。今後も引き続き取り組みを推進していきたいと思っています。(大阪市保健所感染症対策課)

薬食男源

healthy Food, healthy Body for gay



プロフィール ● 藤垣 亜未
株式会社フィロソフィア
都島センター薬局の管理栄養士
薬局では患者さまの栄養指導を
随時受け付けております。個人的に
栄養指導を希望される方は、いつ
でもご相談ください。



ゲイの映画作家アンドリュー・ヘイ監督が描く、「わたしたち」の物語。『異人たち』

©2023 20th Century Studios. All Rights Reserved.

わたしたちは人生に愛を見つけることができるのだろうか？ そんな大きな問いに向き合うのが映画『異人たち』だ。もちろんそれはすべての人間に突きつけられる問いではあるのだが、この映画はとりわけ、ゲイの人生につきまとう孤独を見つめている。「ゲイであるわたしたち」の物語として伝えようとする意志が強く感じられるのだ。

原作は山田太一の小説『異人たちとの夏』。1987年に発表され、その翌年大林宣彦監督によって映画化もされている作品だ。脚本家の中年男性の主人公が、12歳のときに交通事故死した両親と再会するという幻想的な幽霊譚と言えいいだろうか。彼はある女性とも出会い親密になっていくが、そこで際立っていたのは現代に生きる人間たちが抱える孤独だった。

今回の再映画化は舞台をイギリスに移したもので、監督は『さざなみ』や『荒野にて』といった繊細な人間ドラマ作品で高く評価されてきたアンドリュー・ヘイが務めている。基本的な設定や筋書きは原作通りなのだが、もっとも大きな変更点は主人公の脚本家のセクシュアリティがゲイ男性になっていることだ。彼が出会うのも年下のゲイ男性に変えられている。

この変更は監督にとって必然的なものだったと思われる。というのも、ヘイ監督はゲイを公言している映画作家であり、これまで『WEEKEND/ウィークエンド』やドラマ「LOOKING」などゲイ・テーマの作品を発表してきた人物だからだ。とくに『WEEKEND』は数日間のゲイのロマンスを親密に描き出し、ゲイ映画の金字塔とも評されている作品だ。ここでは「一夜限り」から始まった関係が特別になっていく瞬間がリアルに、みずみずしく映されていた。一方で『異人たち』では、中年のゲイ男性が直面する孤独が徹底的に突きつめられている。それは、原作で描かれていた主人公の心情を監督

自身がきわめてパーソナルなものとして捉えなおしたことの表れである。

主人公のアダムはロンドンの寒々としたタワーマンションで暮らす中年男性で、恋人や友人のいない生活を送っている。子どもの頃に他界した両親の思い出にまつわる脚本の執筆のためにあるとき郊外の故郷を訪れると、そこで死んだはずの両親と再会する。久しぶりの家族の集合を喜ぶ三人。その不思議な体験と並行し、アダムは同じマンションに住んでいるという若者ハリーと出会い、次第に惹かれあうのだった…。

両親に出会ったアダムは、子どもの頃にできなかったカミングアウトを「やり直す」。彼は両親と死別したために、自身のセクシュアリティを家族に伝えられなかったことをずっと引きずってきたからだ。「ゲイであることを知ったら、両親はもう自分のことを愛してくれないかもしれない」といった不安や恐怖は、多くのゲイが思春期の頃に抱くものだろう。本作ではそれが、中年になっても忘れられない切実なものとして描かれるのだ。両親は…とりわけ母は息子への心配からゲイへの偏見に満ちた反応を見せるが、それでも親子は会話と共感によってお互いを受け入れ、情情的につながっていく。



一方、アダムはひと回り年下のハリーに対し、H I V /エイズに対する恐怖が若いゲイの間でなくなっていることや、「ゲイ」よりも「クィア」を自称として



使っていることなどに当初は世代の差を感じる。けれどもお互いに心を開くようになると、ハリーもまた家族から微妙に疎外され孤独感を抱えていることを知る。アダムはつぶやく…「時代は変わったのに、あの焼けつくような痛みがあつという間に蘇ってくる」。

時代は変わり、過去に比べればゲイの人生もずいぶん明るなものになったかもしれない。しかしながら『異人たち』は、いまもまだ目の前にあるものとしての孤独や、消えない過去の痛みをたしかかな感触とともに立ち上げる。それでもアダムは両親にずっと抱えてきた苦しみを吐露し、ハリーと寂しさを共有することで、誰かと心でつながることの尊さを噛みしめる。この映画は、痛みを分け合うことが愛なのだとはっきりと宣言している。それこそが、わたしたちゲイの生に必要なのだと。本作のエンドクレジットで流れるフランキー・ゴーズ・トゥ・ハリウッドの“The Power of Love”は、エイズ禍で亡くなったゲイたちに愛を捧げる歌だった。



プロフィール ● 木津毅 (きづ・つよし)

ライター。1984年大阪生まれ。映画、音楽、ゲイ・カルチャーを中心に様々なジャンルで執筆している。『ミュージック・マガジン』で「木津毅のLGBTQ+通信」連載中。編書に田亀源五郎『ゲイ・カルチャーの未来へ』(Pヴァイン)、著書に『ニュー・ダッド あたらしい時代のあたらしいおっさん』(筑摩書房)がある。



『異人たち』

- 監督: アンドリュー・ヘイ
- 『WEEKEND ウィークエンド』『さざなみ』『荒野にて』
- 出演: アンドリュー・スコット
- ポール・メスカル、ジェイミー・ペル、クレア・フォイ
- 4月19日(金) 全国劇場にて公開
- 配給: ウォルト・ディズニー・ジャパン

- 北米公開: 2023年12月22日
- 製作年: 2023年
- 製作国: イギリス
- 原題: ALL OF US STRANGERS
- 原作: 『異人たちとの夏』山田太一著(新潮文庫刊)
- 公式サイト: <https://searchlightpictures.jp/movies/allofusstrangers>



男 for you 朋友

「大阪のハッテン場施設は、当初からゲイタウンの性的健康の増進に積極的に取り組んでこられました」

昨年のロイヤルと北欧館の閉店で大阪のハッテン場状況は大きく変わろうとしていますが、そもそもハッテン場は、大阪ゲイタウンの性的健康向上にどんな役割を果たしてきたのでしょうか？

MASH大阪で長年アウトリーチを担当するトシオさんにお話しをうかがいました。

MASH大阪(以下M) : そもそもアウトリーチとは？

T : 二〇〇〇年に臨時検査イベントSWITCHの広報を配布したのが最初だと思います。二〇〇一年には堂山の路上で(！)コンドームを配布、二〇〇二年にはSWITCHの報告をSal+(サルボジ)ゼロ号で配布、以降、サルボジを毎月配布することでアウ

M : ハッテン場施設の反応は？

T : 果たして協力してもらえないのか、不安でいっぱいでしたが、企画書を作成し、施設を訪問して協力を依頼したところ、意外にもスナナリと協力してもらえました。この時期、堂山のバーの中には「最初に入ってくるのがポランティアさんだと客足が悪くなるのよね」といったイケズ

M : 正面から性感染症対策に取り組もうという姿勢があったわけですね。その後の展開は？

T : 二〇〇五〜二〇〇九年には激エロポスターへつつけてやるうぜ〜を配布、その後二〇〇九年には、「コンドームは予防具」のイメージを一気に定着させるため、まとまった

な対応もあったのですが(ミナミや新世界ではそんな対応は皆無でした)、ハッテン場施設では、前のめりどころらの言い分に耳を傾け、丁寧なプログラムは二〇〇三年のへためしてハッテン)ですね。プログラムの目的は、安全にセックスできる場の提供を支援すること、それからハッテン場II性感染症の温床、というネガティブなイメージをポジティブなものに変えること、この二つ。プログラムの内容は、コンドーム付き壁貼りパネルを製作してハッテン場の壁に設置してもらおう、コンドームの入った樹脂製小ケースを設置してもらおう、の二つでした。

数のコンドームとローションのセットを配布しました。二〇一二年には、同年に始まったクリニック検査キャンペーンの広報の一環として、ハッテン場専用のマグネット型フライヤーを開発し、施設のロッカーに貼り付けてもらいました。ところが、マグネットに書かれている割引条項をハッテン場施設の割引だと勘違いする方たちが続出。オーナーさんたちと協議して、透明のマグネット・ポケットに資料を詰めるかたちに変えました。二〇一六年には、ヘヤルと北欧館については？

T : 両店とも、店内の随所に本物志向のオブジェムラカ

M : 興味深いお話、どうもありがとうございます。



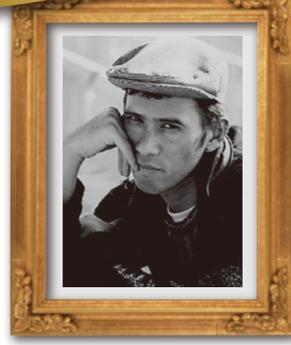
昨年12月に京都で開催された日本エイズ学会の会場で展示されたNGOブースの1コマ。MASH大阪がアウトリーチで配布している資料がたくさん見えています。さて、ここには何がありますか？

ミ・タカシのフィギュア、ルイ・ユートの年代物トランク、ステンドグラスをあしらったアンティークのランプ、クリスタル製イルカのオブジェ、戦前のゲイの画家による大作絵画、西洋式の甲冑などが置かれていて、ひとつの文化的空間が演出されています。「ここを訪れる客は英国紳士のように振る舞ってほしい」というこだわりが感じられるようで、他店とは全く違う個性を放っています。

〈S/N〉の誕生 古橋悌二の遺したもの

LGBTQアートの金字塔と呼ばれるダムタイプの〈S/N〉。その〈S/N〉の記録動画に衝撃を受け、上映会を京都で毎年開催している菅野優香さんにお話をうかがいました。

偉人伝 知られざる



古橋 悌二 (1960-1995)

はじめまして、菅野優香と申します。京都の大学で映画などの視覚表現とクィア・スタディーズの研究・教育に携わっています。出身は岩手県。小さい頃、父親の親友に映画館の経営者がいて、よく一人で観に行っていました。東映系の館でしたから、今よく観る映画とはずいぶん違いますけど(笑)、楽しかった。これが映画の原体験かもしれません。大学進学で上京したのが、丁度バブルがはじけ、小規模な映画館が林立した時代でした。ただ、映画を浴びるように見つめて、異性愛を描く作品の多さに辟易してしまいました。「映画の中に自分の居場所はないのだろうか」と思い悩むうちに、ミニシアターでクィア系の作品が次々に掛かるようになり、「いや、これは面白い!」。本格的に勉強したいと思うようになりまして。大学では、フランスの映画理論や批評を学んでいきましたが、当時面白いと思ったクィア系作品の多くは圧倒的に英語圏で作られていた。そこで、英語圏の映画をジェンダー・セクシュアリティの視点から分析する研究

にシフトすることに。〈S/N〉に出会ったのもこの頃です。上映会で観たのですが、一つのシーンにもすごい衝撃を受けた。導入部の終わりで、パフォーマーの一人が「梯ちゃん(古橋のこと)はゲイでHIV陽性者、アレックスはゲイで障害者、僕はゲイで黒人」と言ったあと「で、あなたは?」と問いかける場面です。「で、あなたは?」という何気ない言葉にグサッときた。なぜかというところ、確かに私は大好きな映画を研究していたけれど、その研究に取り組む姿勢が未だ固まらない状態だった。そこを突かれた気がしたのでと思います。二〇〇〇年代前半から七年間、カリフォルニアの大学の博士課程に在籍し、ビジュアル・スタディーズを専攻しました。映画と美術を「視覚」作品として一続きのものと考えて研究する、そんな新しい学問。とても刺激的でしたが、同時にクィア理論を学んだことがとても大きかったです。

ジェニファー(ジェニー)・テリーという米国の同性愛の病理化や性科学言説を文化・社会的に読み解く研究をしていた先生のもので、かけがえない学びを得ました。学者としても人間としても、本当に尊敬できる人でした。ジェニーをはじめ多くの女性教員がレズビアンやクィアでしたが、彼女たちからは「私たちは生き残った世代」という言葉を何度も聞きました。八〇年代、九〇年代に、研究者を含む本場にたくさん友人たちがエイズで亡くなってしまった、だから彼らが生きていたらクィア理論はちがったものになっていたかもしれないと。エイズという病がクィア・スタディーズの歴史に深い影を落としていること、そして、ゲイとレズビアンの人々のあいだに深い連帯と協働の歴史があったこともその時はっきりと自覚しました。帰国してから北海道で大学の教員をしていましたが、京都の

大学でクィア・スタディーズ分野の公募があって迷わず応募しました。八〇〜九〇年代の京都のクィア文化にも関心があったので、移れたときはとても嬉しかった。早速、その年に米国のエイズ・アクティビズム団体ACTUPのドキュメンタリー映画『怒りに力を』を日本各地で上映するプロジェクトに関わり、〈S/N〉の出演者で前号のこのコラムに登場したプブ・ド・ラ・マドレーヌさんと出会いました。プブさんが当時の京都の様子について本当に色々教えてくれた。感謝しています。そうこうしているうちに、女性の視点から〈S/N〉を見直そうという話になり、プブさん、堀あきこさんと一緒に「ガールズ・アクティビズム」という上映イベントを開催しました。その後、スタンフォード大学京都プログラムでクィア・カルチャーに関するクラスを担当することになり、〈S/N〉の上映会を組み込むことを思いつきました。以降、毎年十一月頃に上映会を開催しています。古橋さんやダムタイプについてですが、私の関心は古橋さん個人というより、彼のもつ心力が可能なした人間関係や出来事の連らなりにあります。〈S/N〉という作品の強度は、個人のカリスマや才能だけに還元されるものではなく、九〇年代京都のクィア文化を支えた関係性の網の目に源泉があるのではないかと感じるからです。その点を明らかにすること、女性の視点から〈S/N〉を再考することに今後取り組んでみたいと思っています。

プロフィール ● 菅野優香
同志社大学大学院教授。カリフォルニア大学アーヴァイン校で博士号(視覚研究)取得。専門分野は、映画・視覚文化研究、クィア・スタディーズ。映像におけるジェンダーやセクシュアリティ、人種の問題に関心を寄せ、クィア・シネマやLGBTQ映画祭をテーマに、映像とアクティビズム、コミュニティの生成などの問題に取り組む。著書に『クィア・シネマ―世界と時間に別の仕方 で存在するために』(フィルムアート社、2023年)、『クィア・シネマ・スタディーズ』(編著、晃洋書房、2021年)、共著にRoutledge Handbook of Japanese Cinema (2021)、The Japanese Cinema Book (2020)、『クィア・スタディーズをひらく』(晃洋書房、2020)、『ジェンダーと生政治(戦後日本を読みかえる)』(2019)、『川島雄三は二度生まれる』(2018)など。



✈️ 海外男街通信

サンパウロの光と影



コンソラソン地区の近くにあるYACHT CLUBスタッフは船乗りの装束で

【ブラジル・サンパウロ篇】
世界最大規模のプライドパレードが開催されているサンパウロ。参加者は三百万とも四百万とも!しかしその陰ではびこるLGBTへの排斥と暴力。日系三世のヒデオさんにサンパウロのLGBT事情を語っていただきました。

はじめまして、ヒデオと申します。三十代の日系三世のブラジル人で、サンパウロの生まれ。今は日本に住んでいて、バイセクシュアルを自認しています。サンパウロはブラジル最大、南半球最大の、東京と同じくらいの大都会です。日系人もたくさん住んでいますが、LGBTの人たちの状況は日本とかなり違います。今日はそんなサンパウロの様子をお伝えしようと思います。

自分がバイセクシュアルだと気付いたのは二十八歳のときでした。インターネットで見つけたバイセクシュアルのグループに参加し、カウンセラーを交えて経験や困りごとを語り合ったり、ピクニックに行ったりしました。そこで気が付いたのは、ブラジルのLGBTの人たちは自分にラベリングをしない人が多く、孤独になりがちだということ。僕も二十八歳になるまでそうでした。バイというラベリ

ングをしてようやく、LGBTの友人ができるようになったわけです。プライドパレードにも参加するようになりました。最初は面白いと感じていましたが、段々とイメージが変わっていき、なぜかというところ、パレードの先頭を車椅子の人たちが歩き、そのあとにLGBTの子をもつお母さんたちのフロートが続くという順番が定着するようになったからです。とても素晴らしいやり方だと思います。ブラジルでは自分にラベリングしない人が多いと言いましたが、その背景には、一般的な家庭では「家族の中にLGBTが居てほしくない」と考える人が多いことがあげられます。さらにその背景には、国民の五割を占めるカトリック、三割のプロテスタント、いずれもLGBTに冷淡というキリスト教文化があります。カミングアウトしたことで家族から暴力を受けたり放逐されたりすることも頻繁に起きています。LGBTの人たちのあいだでは自殺、うつ病の割合が高いことも報告されています。とりわけトランスジェンダーの人たちの状況が厳しいと思います。一方で、こうした状況を改善していくこうとする動きも活発です。市当局は市内の五ヶ所に「LGBT市民センター」を



LGBT文化と保護のセンター開設の準備の様子



LGBT文化と保護のセンターの外観

設置し、LGBTの人権を守る活動を行っています。これとは別に、NGOが開設した「LGBT文化と保護のセンター」というのがあって、ここでは家庭から放逐された青少年に避難所を提供して、宿泊、カウンセリング、就業支援、裁縫教室、衛生管理プログラムなどさまざまなサービスを提供しています。

できるという判決を勝ち取っています。サンパウロだけでなく、二十年ほど前から連邦政府がダイバーシティ教育に積極的に取り組むようになり、LGBTコミュニティの認知度が飛躍的に高まっています。同性婚が制度化されたり、大規模なプライドパレードが実施されたりする背景には、当事者側の働きかけとそれに応えようとする連邦政府や市当局の教育政策の転換があると思います。ただ、前に述べたようにLGBTの問題は失業・宗教・暴力とも密接に絡むため、問題が深刻化しやすいと思いますし、保守派が政権を取ると教育政策がガラリと変わったりします。最後に、サンパウロのゲイタウンについて。大きなゲイタウンが三つあります。都心で映画館、サウナ、ハッテン場が集中するレブリーリカ地区、同じく都心でカフェ、バーとクラブが多いコンソラソン地区、少し離れた、ダンスクラブが集中するバーハ・フンダ地区の三つです。クラブ・ミュージックは店舗によってジャンル分けされていて、A店では米国やブラジルのポップス、B店ではテクノ、C店ではトライブル・ハウスといった具合に細分化されています。ハッテン系のバーやサウナでは曜日ごとにテーマISM、セクシーマジック、フィストファック、ポルノ男優出演など



プライドパレードで行進するトランスジェンダーのグループ

以上のように、LGBTの人権を守ろうとする勢力と排斥しようとする勢力がガチでせめぎ合っているのがサンパウロ市およびブラジルという国の現状ではないかと思えます。